

かけはし

VOL.126

2025年 3月

ご自由にお持ちください

特集

妊娠から産後まで
母と子を支えるトータルケア

私が志した道

Vol. 04

最良の医療に貢献

薬剤師

みやざき しんすけ
宮崎 伸輔 さん

薬剤師の重要性

私は、家族に医療関係者がいたこともあり、幼い頃から病院のスタッフと接する機会が多くありました。その中で薬剤師の方とお話しすることがあり、薬剤の重要性を知ることになりました。薬物療法は医療において不可欠であり、適切に行われなければ、患者さんの治療効果や安全に大きな影響を与えると知り、薬剤師は常に患者さんの命に関わる重要な職種だと感じました。思い返すと、その頃から薬剤師という職業に魅力を感じ始めていたように思います。

薬剤師はすべての患者さんに携わり、医療において欠かせない存在です。命に関わる責任のある仕事だからこそ、その役割に魅力を感じ、私は薬剤師を志しました。

薬剤師とは

薬剤師は医師や看護師のように患者さんと直接関わる機会が多い職種ではありませんが、適切な薬物治療を支えるという重要な役割を担っています。私は調剤業務や抗がん剤治療の薬の調合、入院される患者さんの薬の管理から退院されてからのアフターフォローまで担当しています。また当院ではチーム医療に力を入れており、様々な職種で患者さんに対して医療サービスを提供しています。その中でも私は薬の内容や投与量を確認し、常に患者さんにとって適切

な治療になるよう、チーム内でより適切な薬を提案することもあります。特に、重症感染症で入院された患者さんに対して適切な対応を行い、感染症の悪化を防ぐことができたときには、大きな達成感を感じました。また、仕事をする上で色々な方と関わることが多いので話をする際には常に相手のことを十分に理解した上で話すことを心掛けて、常によい関係性を構築できるよう意識しています。

さらなるスペシャリストを目指して

当院は急性期病院であり、専門的な症例やスキルを多く学ぶことができます。入職当初は、薬の知識や業務を覚えることで精一杯でしたが、現在ではより実践的な知識の習得を目指し、患者さんの適切な薬物療法を実現できるよう日々努力しています。また、患者さんはもちろんですが、他の職種の方からも頼られる薬剤師を目指していきたいです。

さらに当院は、職員同士のコミュニケーションが良好なうえ、働いているスタッフの雰囲気がとてもよいと感じています。チーム医療を掲げる中でさらにチームの一翼として活躍していきたいと思っています。

採用ページ
はこちら



理念

患者さんの立場で
考える

行動指針

私たちは、患者さんの立場にたって行動します
私たちは、信頼される医療を提供します
私たちは、チームワークを高め、活力溢れる職場をつくります

かけはし vol.126 2025年3月

〔発行〕福井県済生会病院
〒918-8503 福井市和田町舟橋7番地1
TEL: 0776(23)1111 (代)
〔責任者〕天谷 奨 〔編集〕SQMセンター

妊娠から産後まで 母と子を支えるトータルケア

妊娠



穏やかな妊娠期を過ごすために

妊娠中の健康管理は、お母さんと赤ちゃんのためにとても大切です。当院では、当院の内科や婦人科に加え、他院・他クリニックとも連携し、甲状腺疾患や糖尿病などの合併症をお持ちの方でも安心して出産を迎えられる体制を整えています。

また、不妊治療を経て妊娠された方に向けても、専門的なフォロー体制を充実させ、一人ひとりの状態に合わせたきめ細やかなサポートを提供。心身ともに穏やかな妊娠期を過ごせるよう、スタッフがしっかりと寄り添います。



妊娠期のサポート

■妊婦健診4Dエコー

赤ちゃんの動きや表情がくっきり見える4Dエコーを導入。健診はご家族の同席も可。日々成長する赤ちゃんのかわいいしぐさをご覧ください。



■母親教室

出産準備のための教室を2度に分けて開催。前期は食事や禁煙、妊娠中のトラブルについて、動画で視聴。後期は分娩の流れや入院方法を確認し、夫婦でおむつ交換や沐浴などを学んでいただきます。



■助産師外来

妊娠期の不安に寄り添い、バースプランに沿った出産をサポートする無料・予約制の外来です。初期・中期・後期に受診し、安心してマタニティライフを過ごせるよう支援します。

当院のお産の特徴

2014年に周産期センターを開設して10年余、出産数の減少、妊婦さんの高齢化、不妊治療の増加、無痛分娩の普及など産科を取り巻く環境も大きく変化しました。そんな状況のなか、わたしたちが大切にしているのは、一人ひとりの妊婦さんの妊娠・出産・産後に寄り添い安心して新しい家族を迎えるための身体と心のサポートをすることです。近年では産後ケアに力を入れて、宿泊型の事業を実施しています。済生会で出産する方はもちろん、他院や他県で出産する方の地域の受け皿として、医師・助産師・看護師が一丸となってみなさまをお迎えします。



産婦人科主任部長
くろかわ てつじ
黒川 哲司

当院周産期センターでは総合病院ならではの万全の医療体制と課の垣根を超えたチーム連携で、妊娠期から出産、さらには産後までトータルでお母さんと赤ちゃんをサポートします。

出産



大切な瞬間を安心して迎える

出産は人生の大きな節目のひとつです。当院では、妊婦さんやご家族の希望にできる限り寄り添い、安心して出産できる環境を整えています。健診時から同じ助産師チームが対応し、陣痛時は顔見知りの助産師がお産をサポート。ご家族と一緒に赤ちゃんを迎えるための設備も充実しています。

新生児の健康管理のため、小児科医が立ち合いをするケースもあります。万が一の対応も迅速に行える体制ですので、安心して出産に臨んでください。

出産のサポート

■GCU

新生児診療室を同じフロアに完備。小児科と連携を図り、出生時診察や退院診察は小児科医師が病室に伺います。

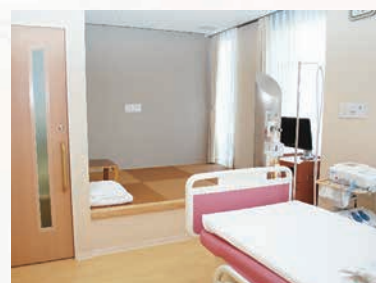
■スクリーニング検査

全新生児に聴覚スクリーニングを実施し、早期発見・適切な治療を支援。専門医と連携し、言語発達をサポートします。

■お祝い

出産後には、お祝い膳や、授乳により不足する栄養素を考慮した補食をご用意。ご褒美のアロママッサージも好評で産後の疲れを癒します。

病棟紹介



■LDR (分娩室兼病床)

陣痛室・分娩室・回復室が一体の個室で、陣痛時の移動が不要です。量もあり、家族に見守られる自宅出産のような環境をご用意。



■GCU (新生児診療室)

同フロアに GCU を完備。小児科と連携し、緊急時の立ち合いや、小児科医による出生時・退院時の診察を実施しています。



■アルパトロス

音と光を活用した分娩リラクゼーションシステム。柔らかな光と音響で、陣痛中も集中しつつリラックスできる環境を提供します。



■セキュリティ

赤ちゃんの安全確保と感染防止のため病棟はオートロックになっています。面会時はインターホンでお知らせください。



■授乳ラウンジ

当院は母子同室のため自室で授乳しますが、気分転換をしたいときや、スタッフと話したいときは授乳ラウンジをご利用ください。

母親同士の交流の場「おはなし会」では、不安や悩みの共有、おひなまきの説明もします。

産後



不安をひとりで抱え込まないで

産褥期のお母さんの心と体は、大きく変化します。入院中はスタッフセンターがすぐ近くにあり、困ったことがあればすぐに相談できますが、退院後は物理的な距離が離れ、不安を感じることもあるでしょう。当院では、退院後も気軽に相談ができるよう、妊娠時からアットホームな雰囲気づくりや、助産師との信頼関係を大切にしています。「退院したら終わり」ではなく、退院後も変わらない安心感を届けることを目指しています。

また、お母さんと赤ちゃんが孤立することなく、必要なサポートを受けられるよう、市と連携した産後ケア事業にも力を入れていきます。他院やクリニックで出産した母子も広く受け入れ、授乳指導や宿泊型産後ケアを実施。産後の心と体の負担を軽減し、安心して育児に向き合える環境を整えています。

周産期センターの特徴

■母乳外来

産後の乳腺炎のケアをはじめ、卒乳の相談、母乳育児に関する相談を承っています。母乳がなかなか出ない、痛みが強い、飲ませるタイミングに迷うなど、それぞれの状況に合わせて母乳育児をサポートします。

■2週間健診

生後2週間の赤ちゃんの成長を確認し、育児全般の相談を伺います。お母さんの体調や授乳状況についても助産師が丁寧にサポートします。

※2週間健診は当院で出産された方のみ無料で受けられる特典となります。



／ ご存じですか？ ／

地域と連携した産後ケア

「授乳が上手にできない」「赤ちゃんが泣いてばかりで寝てくれない、自分も寝れない」など、不安はありませんか？そんな時は、市町の産後ケア事業をご利用ください。

当院では、委託事業として宿泊型ケアを実施。他院で出産された方もご利用いただけます。福井市のお母さんたちを支える受け皿として、安心して育児に向き合えるお手伝いをしています。



産後ケアって？

母体の健康管理、児の発達チェック、乳房ケアや授乳指導、沐浴指導や育児相談などを行います。宿泊型（医療機関等に宿泊）、通所型（医療機関等で日帰り）、訪問型（助産師等が自宅を訪問）があります。対象や詳細については、市町のホームページをご覧ください。

〇〇市 産後ケア事業



助産師からのメッセージ

産後は、人生で一番「人を頼ってほしい時期」です。一人で抱え込まず、家族や病院スタッフに声をかけ、頼って、甘えて、赤ちゃんを育てていってくださいね。心身の変化が大きいこの時期こそ、無理せず周囲の支えを受けながら過ごしましょう。



Q&A



Q 分娩を希望する場合、予約は必要ですか？

A 予約は必要ありませんが、当院での妊婦健診を必ずお受け下さい。できれば妊娠24週までに、初回の受診をするようにしてください。

Q 里帰り出産をしたいのですが、どうしたらよいですか？

A 妊娠24週までに産科外来を受診し、分娩予約をお取りください。その後、32〜34週以降は当院での妊婦健診をお受けください。※初回診察の時期を過ぎてしまった方は、女性診療センターにお電話でご相談ください。

Q 出産に家族が立ち会いたいのですが可能ですか？

A パートナー立ち会い分娩が可能です。立ち会いを希望される場合には、事前準備のため、できるだけ両親学級もしくは助産師外来をお受けいただきます。※状況により、立ち会えない場合もございますのでご了承下さい。

Q 無痛分娩はできますか？

A 当院では麻酔を使用した無痛分娩は実施しておりません。マッサージや温浴などで痛みを軽減し、リラックスしてお産ができるようお手伝いしております。

Q 計画分娩はできますか？

A 当院の方針は基本的に自然分娩です。陣痛を待ち、赤ちゃんが出たい時に出産をサポートします（予定帝王切開の場合を除く）。ただし、予定日超過の方に陣痛誘発による計画分娩を実施することもあります。

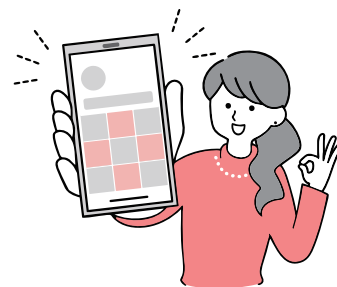


Instagram 始めました



公式アカウント名
fukui_saiseikai_perinatal

ママと赤ちゃんの毎日をサポート♪
妊娠・出産・産後のお役立ち情報を発信



健診結果、そのまま放置していませんか？ C判定は黄色信号、D判定は赤信号です

健康診断の結果は、未来の健康を守る重要なサインです。C判定は「要注意」、D判定は「すぐに対応が必要」な状態。放置すると生活習慣病がじわじわ進行し、気づいたときには動脈硬化や糖尿病、脳梗塞のリスクが高まります。また、がん検診でD判定が出た場合は、早期発見・治療ができる貴重な機会。必ず精密検査を受けましょう。健康診断は「受けるだけ」で終わらせず、結果を活かすことが大切です。

健診センター センター長
まえの こうじ
前野 孝治
医師

生活習慣病 & がんの項目を
チェックしましょう！

「生活習慣病」はココをチェック！

生活習慣病のリスク因子は4つ

- 血圧
- 脂質（コレステロール）
- 糖尿病（血糖値）
- 喫煙

C判定（経過観察）があったら…

- ① かかりつけ医と結果を共有
- ② 生活習慣を見直す（食事・運動）
- ③ 適切なタイミングで再検査

POINT

経過観察は「かかりつけ医で経過を観察してもらうこと」を指します。自分で経過を見ることはありません。結果を医療機関に持参し、判定に応じて3カ月から半年あるいは1年以内に再検査を受けてください。

血圧	最大	90～129 mmHg	125	A
	最小	50～84 mmHg	71	
	脈拍	55～100 回/分	79	
糖尿病	空腹時血糖	73～99 mg/dL		A
	随時血糖	70～139 mg/dL	77	
	尿糖（定性）	(-)	(-)	
	HbA1c	4.9～6.0 %	5.6	
脂質	総コレステロール	mg/dL	171	C
	中性脂肪	50～149 mg/dL	H 200	
	HDLコレステロール	40～90 mg/dL	84	
	LDLコレステロール	65～119 mg/dL	74	
	non-HDLコレステロール	95～149 mg/dL	L 87	



動脈硬化は症状がないまま健康をおびやかす「サイレントキラー」と呼ばれる病気。血圧や血糖値などが正常値を超えた段階からじわじわと進行します。健診で数値をチェックし、適切な行動をとることが重要です。

「がん検診」はココをチェック！

がん予防で大切なのは早期発見・早期治療。進行前の対応で完治の可能性が高まります。

D判定（要再検査・精密検査）があったら…

医療機関またはかかりつけ医で精密検査を受けてください。症状が出る前に受診をすることが大切です。

毎日できる健康チェック

体重計測 日常的に体重計に乗る習慣を作りましょう。定期的にウエスト周りをメジャーで測るのもGOOD！1年間で-2kg、-2cmを目指すのが理想的です。

家庭血圧 朝晩にリラックスした状態で血圧を測定してください。すねや足の甲などを指で押して、へこみを観察し、むくみの有無を確認するのもおすすめです。

自己検脈 65歳以上 手首に人差し指と中指、薬指をそっと当てて、脈の乱れや変化がないかを測定します。起床時や寝る前など習慣化しやすい時間帯に行いましょう。

婦人科	診察	子宮頸部所見なし	D
		子宮体部所見なし	
	経膈超音波	異常なし	
乳房	細胞診	頸部：ASC-US 体部：	D
	視触診		
	マンモグラフィ	右：カテゴリー4 左：カテゴリー3 乳腺腫瘍疑い	
大腸	超音波		D
	便潜血	1回目 (-) (+)	
	反応	2回目 (-) (-)	
胸部	X線検査	右中肺野結節(10mm～)疑い	D
	呼吸器 循環器	異常なし	

結果にC判定やD判定があったら

福井県済生会病院 健診センター

お問い合わせ 0120-291-373

多くの方が健康診断を受けたことがあると思います。ところが、なんとなく結果を見て終わりにしてしまうことありませんか？例えば、健康診断の結果に「要精密検査」と書かれていても、自覚症状がないと「そのうち行けばいいや」と後回しにしがちです。しかし、異常値が出たということは、身体が何かのサインを出しているのかも。結果を受けたまま、放置しておくこ

- ✓ 今年こそ運動を！と思うけど、数日経つといつもの生活に逆戻り。
- ✓ 血圧や血糖値の数値が気になるけど、すぐに病院に行くべき？

かけはしあるある
医療あるある
vol.30

モヤモヤ不安をスッキリ解消！
健康診断結果の見方



とで高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病の悪化、ひいては心筋梗塞や脳梗塞に繋がってしまう可能性があります。異常がない場合でも、前年の数値と比較しながら自分の健康状態を確認することが大切です。健康診断は、毎年の身体の変化を知る貴重な機会。「要精密検査」や「要再検査」の項目があればなるべく早めに受診しましょう。早期対応、早期発見が病気の進行を防ぐ重要なカギとなります。健康診断は受けて終わりではなく、受けた後の行動が大切です。自分の身体と向き合い、適切なアクションを取りましょう！

生活習慣病

生活習慣病とは、食生活、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が、発症や進行に関与する疾患です。進行し重症化すると、「心筋梗塞・脳卒中」につながる場合があります。生活習慣病のほとんどは初期段階での自覚症状がないため、健康診断でのチェックが重要になっています。

福井市 親しみやすい町の歯医者さん

遠矢歯科医院

〔一般歯科、小児歯科、歯科口腔外科〕

と お や と う せ い
院 長 遠矢 東誠

まずは話をよくお聞きし 不安を取り除くことからスタート

2024年11月、旧医院のすぐ近くに新築移転いたしました。新医院の院内は落ち着いた色合いを基調とし、車椅子の方も快適に移動できるよう出入口や通路は広めの造りにしています。感染症対策として衛生面を強化するとともに、滅菌に関わる機器や口腔外パキュウムを増設し、より安心して治療を受けていただく環境を整備しました。診療面では、これまで通り一般的な歯科診療から進行した歯周病などの外科的処置も基本的には当院で行い、合併症などがある場合は基幹病院と速やかに連携しています。また、虫歯や歯周病など口腔内の病気を未然に防ぐため、継続的なクリーニングの推奨やブラッシング指導といった予防診療にも力を入れています。

福井市二の宮5-5-25
TEL. 0776-22-5772

〔診療時間〕

平日 9:00～12:30／14:30～19:00
土曜 9:00～12:30／14:00～17:30

〔休診日〕

水曜、日曜、祝日

〔えちぜん鉄道 三国芦原線〕
八ツ島駅下車 徒歩6分



福井市 専門性を活かした“よろず屋”

吉田医院

〔泌尿器科、内科、アレルギー科、漢方内科、皮膚科〕

よ し だ ひ ろ し
院 長 吉田 浩士

地域に安心を届けるかかりつけ医 幅広い世代の泌尿器のトラブルを解消

福井市照手地区で泌尿器科の専門性を活かし、お子さんからご年配の方まで幅広い世代の健康を支えるかかりつけ医として診療を行っています。患者さん一人ひとりの話を丁寧に聞き、検査結果だけではなく、生活習慣や家族構成、疾患の原因などの背景に寄り添った診療を心がけています。排尿のお悩みから泌尿器系のがんのフォローまで、どんなことでもお気軽にご相談ください。また、在宅療養支援診療所として往診・訪問診療にも注力。全般的な診療、看取りなどに加え、寝たきりの方や通院が難しい方のカテーテルの交換、排尿トラブルの対応、泌尿器がんの診療や緩和治療など、泌尿器分野も在宅で適切な医療を受けていただくことが可能です。

福井市照手 1-13-3
TEL. 0776-24-1230

〔診療時間〕

平日 8:30～11:30／13:30～16:30
土曜 8:30～11:30

※月・火・木・土曜の午前中は訪問診療
および予約診療

〔休診日〕

水曜、土曜午後、日曜、祝日

〔コミュニティバスすまいる 照手・足羽方面〕
照手一丁目バス停下車 徒歩2分



福井市 皮膚の健康と美しさに寄り添う

みねぎし皮ふ科形成外科

〔皮膚科、形成外科、美容皮膚科、美容外科〕

み ね ぎ し よ し き
院 長 峯岸 芳樹

一般皮膚科から美容診療まで お悩みに合わせた最適な治療法を提案

2024年5月に開院し、一般皮膚科や形成外科から美容治療まで幅広く診療しております。肌のかゆみやアトピー、にきびなどはもちろん、皮膚腫瘍の切除、眼瞼下垂の手術にも対応可能です。当院ではただ治療をするのではなく「きれいに治したい」というご要望にお応えすべく、整容面にも考慮して患者さんに向き合っています。たとえば顔の腫瘍を切除する場合、できものの大きさや位置、原因（悪性か良性か）、さらには患者さんの性別や年代によって治療方法は変わります。お悩みに合わせた最適な治療方法をご提案しますので、どうぞ安心してご来院ください。また、Webからの時間帯予約優先制を導入し、待ち時間の短縮にも努めています。

福井市開発4丁目401-1
TEL. 0776-43-3150

〔診療時間〕

平日 9:00～12:00／15:00～18:00
木曜・土曜 9:00～12:00
土曜午後は美容診療のみ。

〔休診日〕

木曜午後、日曜、祝日

〔京福バス 県立病院丸岡線・大和田丸岡線〕
五万堂バス停下車 徒歩3分



坂井市 予約なしで胃カメラ検査が可能

大野内科消化器科医院

〔消化器内科(内視鏡・肝臓)・内科〕

お お の た か し
院 長 大野 崇

つらくない内視鏡検査を追求し 早めの診断で不調にアプローチ

坂井市春江地区のかかりつけ医として、内科一般・消化器内科の診療を行っています。当院では、予約なしで当日の胃カメラ検査に対応しており、6時間以上の絶食でご来院いただければ、その日に検査ができる体制を整えています。内視鏡でつらい経験をした方が病院への足が遠のき、重大な病気の発見が遅れてしまわないことを何よりも大切にし、検査に対する不安や負担を軽減することで繰り返し検査を受けていただけるよう尽力しています。経鼻胃カメラ・細径大腸カメラを用いて、年間に内視鏡検査数700件以上の実績と長年研鑽した技術で、麻酔を使わなくても苦痛の少ない検査を目指しています。お腹の痛みや胃の不調が続く場合はお気軽にご相談ください。

坂井市春江町東太郎丸 23-2
TEL. 0776-51-8170

〔診療時間〕

平日 8:30～13:00／14:30～18:30
木曜・土曜 8:30～13:00

〔休診日〕

木・土曜午後、日曜、祝日

〔京福バス 運転教育センター線〕
東太郎丸バス停下車 徒歩2分



人生のベストシーズン

vol.04

人生で一番最高の日はいつでしょうか。今がその最高の日であるために、今できること、これから始められることを紹介していきます。

／今が一番最高の日／

食事でフレイル予防

楽しく食べて健やかに

フレイルは、年齢とともに筋力や体力が低下し、介護が必要になるリスクが高まる状態です。特に低栄養や筋肉量の減少（サルコペニア）が深く関係しています。「全国高齢者パネル調査」に基づく全国調査（2,206名、65歳以上）では、フレイルの有病率は8.7%（予備群40.8%）とされています。食事や運動、社会参加（趣味・ボランティアなど）を意識することで、フレイルは予防できます。日々の暮らしの中で、バランスの良い食事と適度な運動を心がけましょう。

1 フレイルと食事の関係

フレイルの大きな要因のひとつが「低栄養状態」です。必要なエネルギーやたんぱく質が不足すると、筋肉量が減少し、体力や免疫力の低下を招き、フレイルが進行しやすくなります。また、食事は単なる栄養補給ではなく、楽しく、交流の場にもなり、社会との関係性も深める大切な時間です。家族や友人と食卓を囲むことで食欲が増し、自然と栄養がしっかり摂れます。さらに、季節の食材を取り入れることで四季を感じ、日々の食事に楽しさをプラスできます。しっかり食べ、楽しく食事をすることが、心身の健康を守り、フレイル予防への大きな一歩になります。

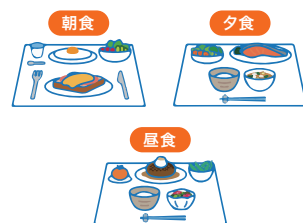


こんな傾向フレイルかも!?

- ・おいしくものが食べれなくなった
- ・疲れやすく何をするのも面倒
- ・体重が以前より減ってきた

2 フレイル予防の食事

3食しっかりと



1日2回以上、主食・主菜・副菜を組み合わせよう



いろいろな食品を食べよう

多様な食品を組み合わせることで、必要な栄養素をまんべんなく摂取できます。



たんぱく質の不足はないですか?

ひと工夫として、間食にヨーグルトなどを食べたり、常備できる缶詰などをうまく活用しよう

参考：厚生労働省 令和元年度食事摂取基準を活用した高齢者のフレイル予防事業



教えてくれた人

栄養部 管理栄養士
ひろせ 廣瀬 みどりさん

Point!
当院では管理栄養士が入院患者さんの栄養状態を評価し、低栄養予防・改善のために栄養補助食品などを活用し、食事内容の調整をして適正な栄養管理に努めています。さらに、外来の患者さんに関しても食事へのアドバイスをしています。早い段階からフレイル予防を行い、元気で健康に過ごしましょう。

INFORMATION

インフォメーション

以下に該当する場合は、
初診時選定療養費を請求いたしません

- ・救急搬送された患者さん
- ・小児救急輪番日（火・金曜日の23時以降）に受診したお子さん
※19時～23時は福井県こども急患センターを受診ください。
- ・救急受診後に入院が必要とされた患者さん
- ・他医療機関からの紹介状を持参された患者さん



2025年3月3日(月)から、緊急性を認めない患者さんが時間外に受診された場合には、診療費とは別に初診時選定療養費(7,700円)をご負担いただくこととなりました。
(※歯科は5,500円となります)
当院は地域医療支援病院であり、時間外診療では、入院を必要とするような重症の患者さんや、緊急の処置や対応が必要と考えられる緊急性の高い患者さんを優先して受け入れております。地域の皆様に安全で質の高い医療を提供するため、皆様のご理解をお願い申し上げます。



時間外に受診される患者さん。
ご家族へのお知らせ

昨年10月のダイヤ改正以降、ご来院の皆様からご意見を多くいただいたおりました路線バスにつきまして、2025年4月から増便されることとなりました。
この度の増便により、主に午後の時間帯のダイヤが追加されており、遠方にお住まいの患者さん、よりスムーズに通院いただけるようになりますと考えております。
変更後のダイヤについては、バス停の時刻表、もしくは本館1階総合案内で配布しているチラシをご覧ください。
今後も当院は、自治体等と連携しながら、地域の活性化や社会貢献につながるソーシャルインクルージョンの取組みを検討してまいります。



バスをお待ちの際は、立体駐車場1階バス待合をご利用ください



路線バスの増便について